

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	電気製図 I	
科目基礎情報							
科目番号	0013			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	「電気製図入門」 大平典男・岡本裕生 著 (実教出版)						
担当教員	日高 良和						
到達目標							
①各種線の線を正しく描くことができる。 ②第三角法を使って正投影図を作図できる。 ③寸法を正しく記入した図面を作図できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		用途にあわせた線で作図できる。		描かれた線の種類とその用途を説明できる。		製図の規格、線の種類・用途を説明できない。	
評価項目2		立体図から第三角法による正投影図を描くことができる。		第三角法による正投影図において不足している図面を作図して図面を完成できる。		第三角法による図面の名称が説明できない。	
評価項目3		図面に正しく寸法記入ができる。		図面の寸法を読むことができる。		図面の寸法記号について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE (c) 教育目標 (C) ①							
教育方法等							
概要		第1学期開講 本科目は、正確な図面の作成と描かれた図面の内容を理解するために、投影法を理解し、製図に必要な図記号などの規格、製図用具の使い方を学ぶ。					
授業の進め方・方法		モノを製作するときに限らず、人にモノを説明するときにも図面が必要となります。図面を見てモノの形が把握できるように解説と実習を行います。					
注意点		作図のため、定規を必ず持参すること。用意できる場合はコンパスと円のテンプレートも持参すること。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業の進め方 製図の規格と製図用器具		・ 授業のスケジュールと評価方法を説明できる。 ・ 製図の規格について説明できる。		
		2週	製図機械の使い方 製図用の線と文字		・ 製図機械を使うことができる。 ・ 各種線の線を描くことができる。		
		3週	投影法と投影図の種類 第三角法		・ 第三角法を使った投影図を説明できる。		
		4週	第三角法による正投影図の作図		・ 第三角法を用いて正投影図を描くことができる		
		5週	第三角法による正投影図の作図		・ 第三角法を用いて正投影図を描くことができる		
		6週	尺度と寸法記入 図面の分類とつくり方		・ 寸法記入について説明できる。 ・ 図面の分類について説明できる。		
		7週	寸法記入の作図		・ 製作図を寸法を記入して作図できる。		
		8週	寸法記入の作図		・ 製作図を寸法を記入して作図できる。		
	2ndQ	9週	まとめ		・ まとめを通じて重要な箇所を説明できる。		
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	製図作品	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0